※施工される方へお願い：必ず本書を御施主様へお渡しください。

201404

必ずお読みください

お施主様用

発売元 JK GROUP
〒136-8405 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー11F
TEL 03-5534-3716 FAX 03-5534-3856

“オーダーメイド”
シマウマブックシェルフ大・小
シマウマ洗濯機上収納 / シマウマリビングデスク
取扱説明書

●製品に関するお問い合わせはこちらまで
製造元 NANKAI 南海プライウッド株式会社
本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-3631	FAX(087)825-3659

⚠ご注意

ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず取り扱いを行なった場合については、当社での保証はいたしかねますのでご注意ください。

安全上のご注意

製品の品質劣化や人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

必ずお守りください

誤った取り扱いをした時に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容です。

お守りいただく内容を図記号で説明しています。（下記は図記号の例です）

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

⚠注意

禁止

● **製品の上に乗らない。**

棚板やカウンター、引出し、スライドテーブルなどに乗らないでください。破損・転倒・落下してケガをするおそれがあります。

● **ハンガーパイプやスライドハンガーに耐荷重の目安以上の重量物を吊るさない。人がぶらさがらない。**

ハンガーパイプやスライドハンガーが破損したり、落下してケガをするおそれがあります。
（裏面「耐荷重の目安」をご参照ください。）

● **樹脂棚板・可動棚板・固定棚板に耐荷重の目安以上の重量物を置かない。**

重量物を置くと棚板が変形・破損したり、落下してケガをするおそれがあります。
（裏面「耐荷重の目安：アートランバー・シェルホワイト」をご参照ください。）

● **扉開閉の際は、取っ手を持つこと。**

扉の開閉は取手を持って正しく行なってください。指をはさんでケガをするおそれがあります。特に小さなお子様は充分ご注意ください。

必ず守る

● **耐荷重の目安値よりも重いものをのせない。**
（裏面「耐荷重の目安」をご参照ください。）

ご使用上のお願い

● **製品に直接水をかけない。**

表面化粧のはがれや反りの原因となります。
※樹脂棚板はとりはずして水洗いができます。
（ただし、必ず乾燥させてから取り付けてください。）

● **粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）は貼らない。**

表面に粘着跡がのこるおそれがあります。

● **蒸気のでる家電製品などを使用する際は、スライドテーブルを必ず引出す。**

蒸気のでる家電製品や熱源の露出した器具（電気コンロなど）を収納したまま使用しないでください。変形、変色の原因になります。

● **傘・レインコートや食器類など、濡れた状態で収納しない。**

表面化粧のはがれや反りの原因となります。
必ずよく乾燥させてから収納してください。

● **水や油などが付着しないようにしてください。**

水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色などが発生するおそれがあります。

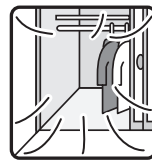
● **扉や取手に荷物を掛けない。**

扉や取手に重量物をかけないでください。
破損や落下のおそれがあります。

お手入れ

● **日常のお手入れ方法**
乾いた柔らかい布で乾拭きする。

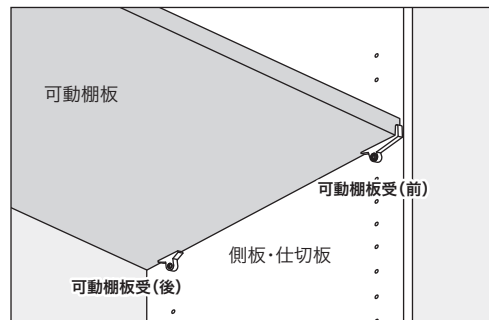
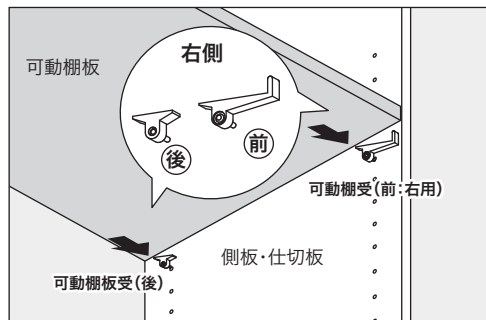
● **汚れがひどい場合**
中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、堅く絞って拭き取り、良く乾燥させる。

● **樹脂棚板のお手入れ方法**
水洗いをした後、しっかりと乾燥させる。

● **換気をする。**
収納内部には湿気がこもりがちになり、結露やカビの発生原因となるため、時々内部の収納物を出し、充分な換気を行なってください。

可動棚板の取り付け

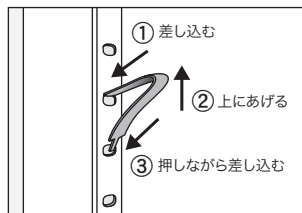
可動棚板を設置する箇所に可動棚受のピンをダボ穴に差し込み、可動棚板をのせてください。

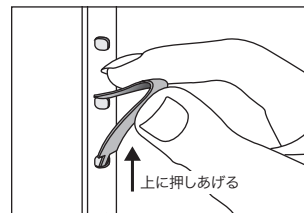
※可動棚受(前)は形状が左右で異なりますのでご注意ください。

※使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

棚柱セットの取り付け・取り外し 指つめ注意!

お好みの位置に棚受を取り付けてください。

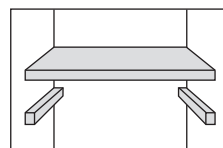
取り付け方

①棚受の上側を差し込み、
②棚受を上にあげた状態で
③下側を棚柱の穴へ押しながら差し込む。

取り外し方

棚受の下側を上に押しあげて取り外す。
※ケガをしないよう充分注意してください。

耐荷重の目安

■アートランバー・シェルホワイト　たわみ試験より算出した棚板荷重の目安(単位：kg)

厚み	15mm厚 [芯材]集成材				20mm厚 [芯材]集成材				27mm厚 [芯材]集成材			
奥行(mm)	300	450	600	910	300	450	600	910	300	450	600	910
間口910mm	**10**	**15**	**20**	**30**	**25**	**40**	**60**	**85**	**70**	**105**	**130**	**185**

試験方法：2方受

ご注意

● 躯体強度、取り付け方法によっては性能を保持できない場合があります。
● 間口寸法によってはたわみ量が大きくなり、実用に適さない場合があります。　※間口が910mmよりも広い棚板については、必ず方立もしくは束を施工してください。
● 棚板の変形を防止するためにも荷重はできるだけ分散するようお願いします。
● この荷重の目安は、長期荷重試験においてJIS規格の範囲内で使用できる荷重値に安全率を加味した算出値です。
従来よりご案内しておりました荷重値の目安値と差がありますが、より実用的で高い安全性を確保した結果ですので、ご了承ください。
● 棚板の取り付けに弊社製品「棚柱セット」各種を使用する際は、「棚柱セット」の耐荷重値を確認の上、より小さい値を耐荷重の目安値としてご認識ください。
※棚柱セットでの棚板取り付けは「2方受」の耐荷重値に準じます。

■その他パーツ

パーツ	耐荷重の目安値
棚柱セット(棚板1枚・棚柱4本・棚受4個の場合)	**50kg** ※1
スライドテーブル	**30kg**
フレーム引出し(1段あたり)	**10kg**

パーツ	耐荷重の目安値
樹脂棚板	**3kg**
ハンガーパイプ	**50kg** ※2
スライドハンガー	**5kg**

ご注意

※1
棚柱セットの荷重の目安は上に載せる棚板の荷重の目安とたわみ量により制限されます。
アートランバー・シェルホワイトをご使用になる場合は、上記をご覧ください。

※2
パイプ長さ(またはブラケットピッチ)が1000mm以下の場合で算出しています。

※数値は目安値であり、品質保証値ではありません。

住宅部品表示ガイドラインによるホルムアルデヒド発散等級

●商品名：オオ
●製造者：南海プライウッド（株）
●F☆☆☆☆
●住宅部品表示ガイドラインによる
●ロット番号：梱包に表示
●構成材料

※本登録は全て材料に関する登録です。

製品分類			表示区分	認定機関	認定番号	(一社)日本建材・住宅設備産業協会自主表示登録番号※
アートランバー（シェルホワイト）	天板・溝付天板・側板・仕切板・棚板・固定棚・背板・蓋・カウンター・幕板・台輪		F☆☆☆☆	―	―	K-000091
フレーム引出し	引出し	前板	F☆☆☆☆	―	―	K-000091
		底板	F☆☆☆☆	日本合板検査会	JPIC-DW50	―
		側板・先板	F☆☆☆☆	国土交通省	MFN-1652	―
	フレーム本体		F☆☆☆☆	日本工業標準調査会	773004	―
木質カウンター	集成材		F☆☆☆☆	国土交通省	MFN-2432	―
メラミンカウンター			規制対象外	―	―	―
木質扉	MDF		F☆☆☆☆	日本工業標準調査会	JQNZ0201	―
	接着剤		F☆☆☆☆	日本接着剤工業会	JAIA-007826	―
受木・受桟・扉取付枠			規制対象外	―	―	―

●お問合わせ先：TEL 087-825-3615　FAX 087-825-3619

201404

必ずお読みください

施工業者様用

“オーダーメイド” シマウマリビングデスク 施工説明書

発売元 JK GROUP
〒136-8405 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー11F
TEL 03-5534-3716 FAX 03-5534-3856

●製品に関するお問い合わせはこちらまで
製造元 NANKAI 南海プライウッド株式会社
本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-3631	FAX(087)825-3659

施工される方へ ご使用前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願い致します。

⚠ご注意

●ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願い致します。間違った施工・取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず施工・取り扱いを行なった場合については、当社での保証はいたしかねますのでご注意ください。
●施工前に受木・受桟・棚柱などの取付位置には、必ず12mm合板などの下地補強を行なってください。
●施工前に躯体の垂直・直角を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。
●本製品はフロア施工・クロス貼り後に取り付けてください。

本製品は「内装専用」です。屋外には使用できません。

施工時に部材表面の化粧紙を傷付けないようご注意ください。

屋内であっても直接水のかかる場所や湿度の高い場所には使用しないでください。

本製品は木質製品です。火気には充分お気を付けください。

化粧面に粘着テープ(セロテープ・シールなど)を貼らないようにしてください。

水・油・インク・薬品などが付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

施工前のご確認 伸寸設定をされている場合は、図面で寸法などのご確認をお願い致します。

1 受木(背板側)と側板または受桟の取付

受木(背板側)・側板または受桟を所定の位置(図面)に合わせ、壁にビスL=65で固定してください。

受木:20×60mm
受桟:20×27mm

●受木・側板の場合
★施工説明例

●受木・受桟の場合

受木・受桟ビス固定数

長さ(mm)	固定数
～300	2本
～600	3本
600～	300ピッチ

側板ビス固定数

高さ(mm)	奥行(mm)	固定数
～2000	～550	4本(上下 各2ヵ所)
	551～	6本(上・下 各3ヵ所)
2001～	～550	6本(上・中・下 各2ヵ所)
	551～	9本(上・中・下 各3ヵ所)

POINT
受木・側板・受桟は水平・垂直をご確認の上、施工を行なってください。すべての工程の基礎となります。ビスはL=65にビスキャップ用ワッシャーを付けてから施工してください。また、**受桟を壁ではなく側板へ固定する場合は、ビスL=38で固定**してください。

2 側板・仕切板の取付

●仕切板の場合
仕切板を上部・下部の受木にビスL=65(2本)でビス頭が出ないように固定してください。

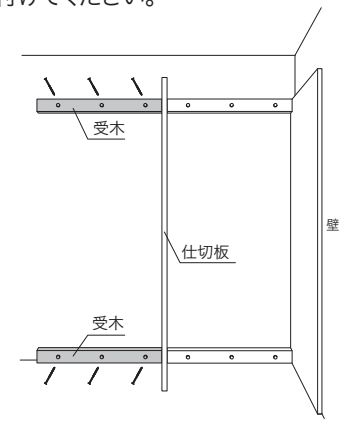
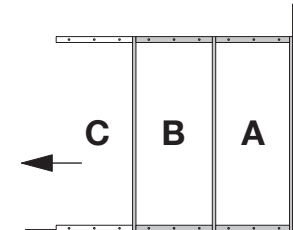
●側板の場合
側板を上部・下部の受木にビスL=65(2本)で固定し、ビスキャップを取り付けてください。

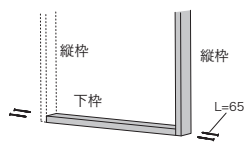
※側板を固定する部材(受木)が受桟の場合は、L=65(1本)で固定してください。

側板固定が受桟の場合

3 受木の取付(B部分)

受木を所定の位置(図面)に合わせ、壁面にビスL=65で固定し、2同様に側板・仕切板を取り付けてください。

●応用編
これでA・B部分の受木・仕切板の施工が完成です。仮にC部分があった場合もA・B部分の作業と同様に施工してください。

枠の取付

●枠の組立
縦枠と下枠・上枠をビスL=65(2本)で固定してください。[2方枠]・[3方枠]がありますので、右図のように枠を先に組み立ててください。

●本体への枠取付[2方枠の場合]
壁側縦枠を壁にビスL=65で固定してください。下枠は、所定の位置(図面)に合わせてビスL=65(2本)で固定し、ビスキャップを取り付けてください。

POINT
ビス頭が隠れるように縦枠のビス固定位置は、扉座金のセンター部分を推奨します。(右図参照)

4 天板/底板/固定棚板の取付

●天板の取付
天板をホワイトビスL=41で受木・側板(または受桟)・仕切板に上部から固定します。

[天板勝ち仕様] [側板勝ち仕様] ※受桟が必要

受木(受桟)に打ち込んだビスと交差しないように注意してください。

※ビス固定数は1をご参照ください。

●底板の取付
浮付タイプで底板の場合は、下部よりL=41ホワイトビスで受木・受桟・仕切板に固定します。

●固定棚板の取付
固定棚板と仕切板(または側板)を下記の方法で固定します。

[固定金具を使用] [受桟を使用]

※システムビスは、ø3mmダボ用です。

※ビス固定数は1をご参照ください。

5 棚柱セットの取付

●棚柱の取付(棚板・樹脂棚板共通)
棚柱を所定の位置(図面)に合わせ取り付けます。この時、棚柱を4本とも同じ高さに取り付けてください。棚柱の受穴位置の確認も行なってください。

注1 側板 / 仕切板側:ホワイトビスL=20、壁側:ホワイトビスL=30で施工してください。

●棚受の取付(棚板・樹脂棚板共通)
棚受を右図の要領で棚柱に差込んでください。

(樹脂棚板の取付)
棚受取り付け後、棚受に樹脂棚板裏側の溝部分がくるように載せてください。

●耐震用棚板ストッパーの取付(棚板)
棚板に耐震用棚板ストッパーを取り付け、棚受に棚板を載せてください。

※棚柱と奥側(壁)との間隔が30mmの場合、奥側(壁)より25mm、側面より10mmの位置を推奨しています。

耐震用棚板ストッパー取付推奨位置

棚柱・奥側壁間隔(a)	固定位置
30mm	奥側25mm・側面10mm
50mm	奥側45mm・側面10mm

[断面図]
側板 / 棚板 / 耐震用棚板ストッパー / 手前 / 奥側(壁) / a
取付位置
棚板裏面 / 耐震用棚板ストッパー / 手前 / 奥側(壁) / 25 / 10

6 固定金具の取付

側板・仕切板下部と床面を固定金具を使ってビスL=20またはシステムビスで固定してください。

※固定金具は所定の位置(図面)に合わせてください。

※側板・仕切板に下穴がある場合は、システムビスで固定してください。

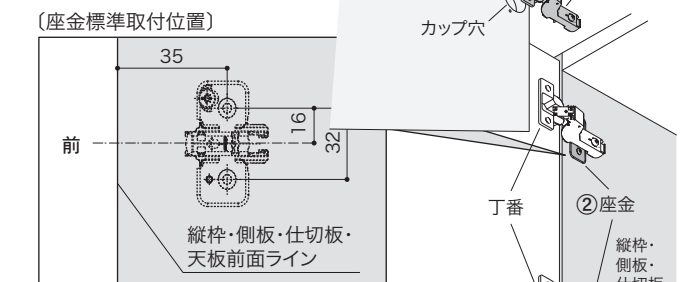
7 ビスキャップ・木口シールの取付

最後にビスキャップの取り付け及び受桟の木口面に木口シールを貼り付けてください。

開戸の取付

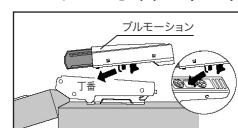
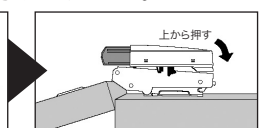
①丁番を開戸のカップ穴に差し込み、扉同梱のビスで取り付けてください。

②〔座金標準取付位置〕で座金の取り付ける方向・位置を確認し、〔座金取付ビス〕を参照して座金を取り付けてください。

〔座金標準取付位置〕

〔座金取付ビス〕

扉	ダボ穴あり(側板・仕切板)	ダボ穴なし(縦枠)
木質	システムビス[金具箱内]	L=16ビス[扉同梱]
アルミ	システムビス[扉同梱]	L=16ビス[扉同梱]

●ブルモーションがある場合
扉調整後、ブルモーションを丁番に取り付けてください。

ブルモーション

ブルモーション下部の爪を丁番の長方形の穴に当て、扉側に少し押します。

上から少し押して取り付けた後、簡単に外れたりしないことを確認してください。